

益新集団が設立十周年記念式典を開催

12月6日、益新集団が蘇州工業園区にある益新ビルにて設立十周年記念式典を開催し、益新が蘇州工業園区に定住してからこの十年間、ご支援ご協力を頂いた現地の政府機関、研究機関、提携先、及び社員の皆様に感謝する機会としました。当日、現地政府や機関からは江蘇省党統戦部副部長兼省僑務弁公室主任王華様、蘇州工業園区党工委副書記兼管理委員会主任丁立新様、蘇州市党統戦部副部長兼市僑務弁公室主任楊新様、蘇州工業園区党工委委員兼管理委員会副主任韓江様、蘇州独墅湖科学教育新区党工委副書記兼管理委員会主任蔣衛明様、蘇州市衛生健康委員会副主任ト秋様などの責任者、中国での提携先からは蘇州翼朴股權投資基金管理有限公司 CEO 林向紅様、招商証券(香港)股份有限公司 CEO 楊帆様、杭州泰格医葯科技股份有限公司董事長葉小平様、長江潤発集团董事長郁霞秋様、大塚製葯(中国)有限公司董事長満志偉様、常州四葯製葯有限公司董事長屠永鋭様などの経営者、日本の研究開発機関からは新見公立大学学長公文裕巳先生、岡山大学ナノバイオ標的医療イノベーションセンター小林栄先生、桃太郎源株式会社代表取締役塩見均様、九州大学葯学研究院教授米満吉和先生、京都府立医科大学大学院医学研究科細胞再生医学教授戴平先生、東京ミッドタウンメディカルセンター院長田口淳一先生などの学者や研究者代表、この他日本の製葯会社、医療機器メーカーなどパートナー様の代表や、EPS グループ各事業セグメントや企業の代表、スズケングループの代表など 140 名が式典に出席されました。

益新集団総裁巖浩、EPS 益新株式会社(以下、EPS 益新)代表取締役神谷孝志、上級副総裁兼 EPS 益新社長田代伸郎、上級副総裁兼益新(中国)有限公司董事長巖平ら益新集団の経営陣が式典に出席しました。



挨拶する巖浩総裁

巖浩総裁が挨拶の中で、まず十年来園区政府、研究機関、提携先やパートナー様から頂いたご支援ご協力に感謝の意を表し、お蔭様で益新が今日まで発展することができました。益新が2008年に園区に根を下ろしてから、模索の中で前進し、前進の中で成長して来ました。その中で中国の市場に適し、同時にEPSグループやスズケングループの日本における優位性が発揮できるビジネスモデルを徐々に確立してきました。即ち日中をつなぐヘルスケア産業の専門商社になることです。益新はこれからも初心を忘れず、パートナーの皆様と一緒に日本から優れた製品や技術を導入し、インキュベーションと研究開発機能を備え、生産と販売能力も持つ開かれたプラットフォームを構築し、中国の健康産業の発展に貢献していく所存で、引き続き来賓の皆様からご支援ご協力を受け賜りたいと述べました。



挨拶される公文裕巳先生

新見公立大学学長公文裕巳先生からご挨拶を賜りました。その中で先生が日本でEPSグループから新薬の開発に多大な支援を受け、更にこれを中国にも導入した経緯を振り返って紹介されました。益新にこれからも日本から先端薬品や技術を中国に導入し、実用化に努力してほしい、そのため引き続き協力していきたいと述べられました。

この他、大塚製薬(中国)有限公司董事長の満志偉様、方正璞華(蘇州)有限公司董事長管祥紅様、江蘇省党統戦部副部長兼省僑務弁公室主任王華様、蘇州翼朴股権投資基金管理有限公司CEO林向紅様から暖かいご挨拶を頂きました。

益新(中国)有限公司がEPSグループの子会社として2008年12月に蘇州工業園区で登記し設立しました。

益新集团広報渉外チーム
2019年12月24日